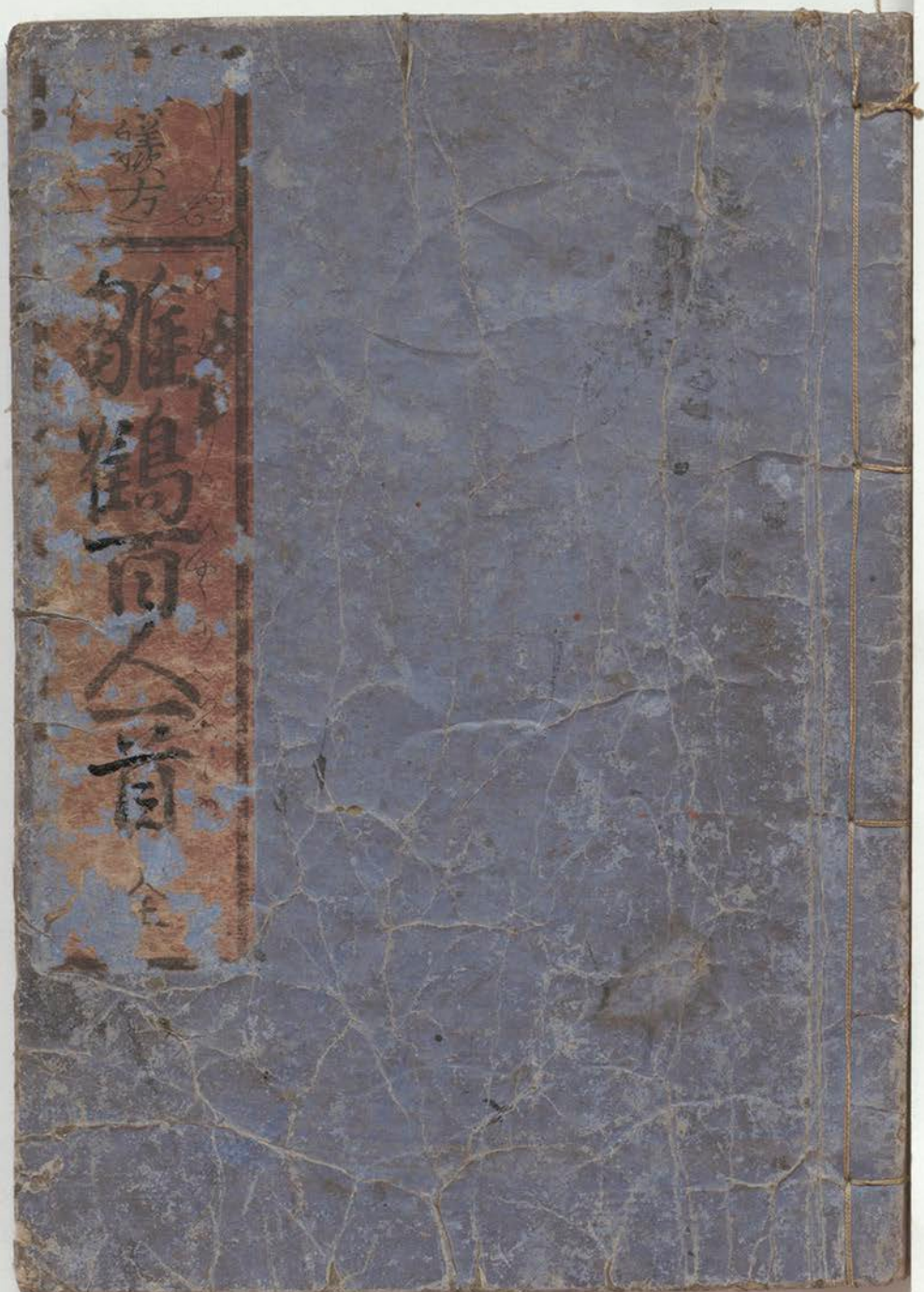
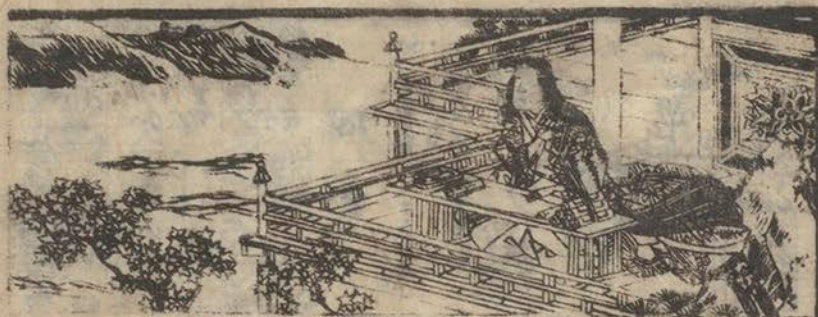






若鶴百人一首



天智天皇

秋の田

庵の

名と

あふみ

我衣の

あふみ

源氏物語の巻
 秋の夜



持統天皇

まことみかど

まことみかど

まことみかど

まことみかど

まことみかど

まことみかど

まことみかど

まことみかど

まことみかど



柿本人麿

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの



如所

よりてこそしるし
とよあき



ふにけしてろ
もえんあ
持てうみ



やまぐのあひ
山色赤人

田ふれうに

おあう

白め
の

もくろつ



未福

ふつふつ
な一にうつこの



おあき
あきあき



あき
あき

猿丸
を

奥ふれうに

うみ

鳴

廉

の

秋
あき



いふ
あんと



秋の庚子月



善撰法師

つゞ
廣ひろい

和乃

三

高

七
五

とらふと

人々



漢標



たづねてとて



とわくこまうし
小野小町

花のふり

うきやう

之

る

三

我月也

まうめせー



思ふ所の如く

僧正遍照
 天津風

雲々々々々々

あふん

乙巳

をめぐりて

三

三

St

卷之三

卷之六

玉

卷之四

三

...



ねづ
ろ
め

五

新刊

三

200

卷之四

三

あそび

しや
女の
もろ

吹

五ノ

天津風

僧正遍照

陽成院

箱根の

又稱

齊

卷之五

無うは

河と衣ゆき





三



福



野村

風をさしひくま

まき

やま

やま

けし

まき

まき

まき

まき

まき

まき

まき

まき

まき

まき

まき

まき



中納言行平

まわりの

いふ

の

乃

峯に

松

今ゆえん



まき

まき

まき

まき

まき

まき

まき

まき

まき



柏木
 今も
 花の
 葉の
 影の
 下
 三つ

横笛
 今も
 花の
 葉の
 影の
 下
 三つ

元良親王
 侘
 今
 身
 何を
 何

身
 何を
 何



今も
 花の
 葉の
 影の
 下
 三つ

今も
 花の
 葉の
 影の
 下
 三つ

素性法師
 今
 身
 何を
 何

今
 身
 何を
 何



文庫ぶんく 文庫ぶんく 文庫ぶんく

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

あま

孝

0

多

卷之八

五

3

卷之四

白宮

物をつゝめたる

陸

子

22

子孫

心ありて脈のちや

夫

10

卷之四

卷之四

三

大に千里

[illegible]

分

乙

卷之

2

3

三

大に千里

[illegible]

分

乙

卷之

2

3

三

川のた
川の
うらや
ひり
かきこめ
そこのまじ
梅姫
姫あ
知を
くそ
たふせ
年の
油

The illustration consists of two separate drawings of traditional Japanese architecture. On the left, there is a building with a tiled roof and a torii gate in front of it, surrounded by stylized trees and foliage. On the right, there is another similar building, also with a torii gate, and more stylized vegetation around it. The drawings are done in a simple, sketchy style typical of Edo-period book illustrations.



推本
 なるゝひろげと
 たのほ
 あわ
 るるあ
 うるれ
 瑞角
 あげまゝにふくむ死
 果りとひびく
 こえ
 なん







かりのしるし

分

去冬

廿六

८३

— Kunst —



在馬六甲源氏宗廟

の秋も乃暑き作は

田代のきりぎりす

一、五紙やまゝのうゑ

卷八 武經 什字

江島石の石をとりてまの石

源宗千太郎

山

卷之七

天

1

海
子

人

里中



九河因弱

心あて

3

也

13
K

る義の

仲由の事

白葉牡丹



[illegible]

のめふあまうり
つゝあま下ともあまうり
まきく何なりぞいへば
とうせあまあまをたえ
るやうにわたりてしるは
白雲のをよりつゝあま
おのりのとのせよるす
れもあまそむ世狀をさ
非なるこゝろをぬりてく
ほの人低りてくるやな
る海舟のまねふあひあ
るを沈まりそのち狀ハ
ふ紋の痕けみずりか
因安と因安中因安を
こそとてまかりしにわ
とに契ひたる世入草狀
として巻の名をて何乃





藤原奥風
 後とて
 人
 高
 松
 なまらぬくに



紀
 人
 花
 古
 もに



今

天中細石

六
律
勢

二條のふりかへ

卷之六



清系深表又

夏

三

會

二

五

卷之四

卷之七

河東



遊の

3

の

美

の

九

衣

2

か

3

卷之六

卷之六

五



文
唐
胡
康

白濁

也

12

社

修

三

2

...







平家盛
 出に
 我色い
 のや
 のふま



壬生忠見
 無き
 まき
 まき
 まき





清承元彌

繁りらる

とて

あふ

末の

まの

は

は



中絶を致す

の

は

は

は

は

は

は

天長元年
秋八月
乙未



中納言
源氏
朝臣

あふまの
後

ま

ハク

中

人

月を

照



長原
宗平

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と



源氏
朝臣

あふまの

後

ま

ハク

中

人

月を

照





左は上皇明



源重之

風をいそみ

岩

浪のう

其のき

くみけ

ちふらん

う

う

う



清臣り

清士の

うたれ

戦

り

量い清

もの

う

大中は能を





中風候の事
 中風の候は
 一のころより
 二のころより
 三のころより
 四のころより
 五のころより
 六のころより
 七のころより
 八のころより
 九のころより
 十のころより

明日は
 明日は

知りな
 うと
 方を
 うと
 あと
 けと



中風候の事
 中風の候は
 一のころより
 二のころより
 三のころより
 四のころより
 五のころより
 六のころより
 七のころより
 八のころより
 九のころより
 十のころより

明日は
 明日は



姐³已ぬまりやちゆう格
うてつぎとめー
なり日²あふせいの統
天²の清^{かん}
一²くわあゆ^{ごん}見^し
どせにめもまひ
こ²いみうのほ
ゆきせもるにあて
をまんめさかうの時^{とき}
まらけらん女²あ
をさくし²あまこ
ア²あえくあり
らんち²お屋底²あ
んなくとあめてび
一のち²の如²
一のち²あふ
わそくあまの眉^{まゆ}



之六

人
を

之

風吹

系

わきの通

有馬

大鄭三傳

姐已ぬきなりと申す所
うてつぎとてめー
まり日取あそびの統
天宮の清かんくさるひ
いやくわふ門もん見
とせにぬめもまじり
こゝろはみづうのは
ゆきにせもふじあて
をまんめさかうの因
まらふれらん女まも
をさくくしあまころ
ちいふもえくあり
らんちけけおんあ
んらくとやめてび
し一のちののね
いのちのちのち
わよくわよくの眉

大德書門

平

もで

ねえま

五

詩

父

三

月と見

三



ちいととふのやと
 うらやうにうらや
 ーとくすくすも
 ころろろろくろろ
 かててーのま
 るでろろい
 みゆりゆりの
 いうちもろろろ

[illegible]

わい　つう　ふん　れ
る　し　ま　て　つ　り
し　な　ら　む　か　ら　ん
も　み　や　く　ひ　そ　む
ま　の　き　は　ほ　く　に
や　は　と　そ　ひ　の
目　の　う　ぐ　さ　を
う　く　知　中　る
有　く　は　又　賢　の　福
教　や　の　ち　に　を
所　う　は　ひ　に　た　つ
の　お　よ　で　女　子
う　の　め　の　こ　え
う　の　め　の　こ　え

いふの
うけ
八
多
白
ふ
い
わ
は
大



[illegible]

清
丹
細
衣

張

乙卯

るの

之者八

卷之四

在

國史

今も昔も

之

と
ん

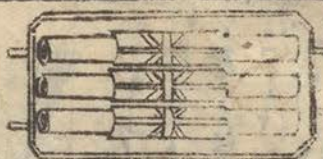
ひさし

人傳ふ

子

大東家通雅

○つわがずたのよ
ほむあうくのど
くそまにこもみ
むのよほむせこ
入のともいそのま
入るなり



〇まねの
 三三三
 三三三
 三三三
 三三三
 三三三

四
 三
 二
 一



○ちやうど人ま
かゝるに
てゝユ
まうニワの
あひくき
まふもつこ
なり

積中納言定頼

あさぎけ

宇治の



津の細代本

啓

乃

173

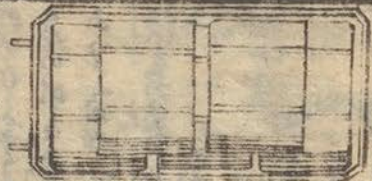
木下元

楊中修

三

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor discoloration and a dark, textured binding edge visible on the left side.

上
下



のうき
のうき

く

杉原

Samuel

のほふ

三

もと横

のたへし

二二二

おふふふふふふふ

相
模

順
天
王
子

三

油

五

卷二

うゑとゆゑ



[illegible]

の果てに
ちてを
会ては
事への
はてて



卷八

10

小神

蘇○○



抽

〆て下

周防因信

三
美し
の

養子

三

林

ひさ

人

卷之七

神



良選法師

[illegible]

大納玄經儀

文選

門田乃

22

五

あ

三

秋風



ついでとて後夜に
 夢枕とてとてとて
 へんてとてとてとて
 あつてとてとてとて
 かくとてとてとて
 とてとてとてとて
 かくとてとてとて
 いゆとてとてとて



ついでとて後夜に
 夢枕とてとてとて

あつてとてとてとて

へんてとてとてとて

あつてとてとてとて

かくとてとてとて

とてとてとてとて

かくとてとてとて

とてとてとてとて

かくとてとてとて

とてとてとてとて



ついでとて後夜に
 夢枕とてとてとて

あつてとてとてとて

へんてとてとてとて

あつてとてとてとて

かくとてとてとて

とてとてとてとて

かくとてとてとて

とてとてとてとて

かくとてとてとて



[illegible]

渡るゝにても次の
 と申す一丁の　らあ
 つうと見づゝ人様と
 みまぐれのもちまひ
 うう時より度へまん
 と云はいううが文を
 わとも知んぬとてこ
 くじ、ゆゑゝゝん中も
 又同家のうゝてゝまね
 とゝア度々くへとなう
 とさうけさふり
 するゝと西野の
 都ゝゝゝゝゝゝゝゝ
 ーゆゑゝゝゝゝゝゝ
 るゝゝゝゝゝゝゝゝ
 とつれゝゝゝゝゝゝ
 てゝゝゝゝゝゝゝゝ

藤原基俊



A portrait of Fujiwara no Ason, a prominent figure in Japanese history. She is depicted from the chest up, wearing a dark, patterned kimono with a wide collar. Her hair is styled in a traditional Japanese fashion, adorned with a large, ornate hairpin. She has a serene expression and is looking slightly to the right. The background is a light, textured surface.

災母と
セと
あ
命と
あ
あ



歳とふね
 まつり
 まつり
 易く思ふ
 らと
 や
 六
 外
 つ
 や



源兼昌
 法政
 女
 の
 く
 く
 女
 も

ま
 鑑
 ね
 の
 の
 同
 や



左
 秋
 の
 絶
 り
 新
 の

ふーのち
あふのち
あつせのち
あまれのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち

あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち



あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち

あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち
あふのち



中なかつのれと
 ううのれと
 かくかくのれと
 ここのれと
 ううのれと
 三月三月のれと
 推おしのれと
 ううのれと

道因法師

おののいいのの

ううのの

命いのちを

ああのの

おおのの

ううのの

ううのの



ななのの
 ううのの
 ううのの
 ううのの
 ううのの
 ううのの
 ううのの
 ううのの
 ううのの
 ううのの

おののいいのの

世よのの

みみのの

そそのの

ううのの

おおのの

ううのの

床とこをのうう



看一の目
 一の目
 一の目
 一の目
 一の目
 一の目
 一の目
 一の目
 一の目
 一の目

敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師



敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師

敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師
 敬東法師



目もまなりく
 何とてに世を
 白くわきぬ
 人々を
 定めて
 かくし
 在る
 事
 いか
 ほど



西行法師
 秋も
 月
 お
 か
 我ま

小
 人
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち



寂蓮法師
 び
 ま
 ど
 い
 何
 何
 何

ぐさく九一落
 ちの顔百把持
 へいへい何へ乃
 けいけいあせ
 かりるをく
 夕一系と段
 ちうくいぬ
 ちうく
 文月七日

見せざる
 とまの
 あまの徳
 ぬ
 ま
 色
 殷
 留
 門
 院
 大
 楊



中元法
 ちんげん
 めくもくぬ
 ちんげん
 ちんげん
 ちんげん
 ちんげん
 ちんげん
 ちんげん
 ちんげん

後
 系
 松
 橋
 政
 大
 政
 基
 ち
 や
 大
 臣
 衣
 夜
 の
 衣
 ち
 ろ
 衣
 い
 ち
 ろ
 衣



ちんぐみ
 ちんぐみ
 利結十
 ちんぐみ
 目よりきり
 ちんぐみ
 ちんぐみ
 ちんぐみ
 ちんぐみ



風も
 ちんぐみ
 ちんぐみ
 ちんぐみ
 ちんぐみ
 ちんぐみ

七月

九月
 菊の
 ちんぐみ



中細り一巻
 みるく、なまめ
 輝く、きらめ
 り、きらめ
 推し、きらめ
 みるく、なまめ
 もの、きらめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 酒と用ひ、きらめ

糸織推後
 み、きらめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ



子、きらめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ

糸織推後
 み、きらめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ
 みるく、なまめ



九月三日

歳時記

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

入道が大臣

むすふ

嵐の

庭

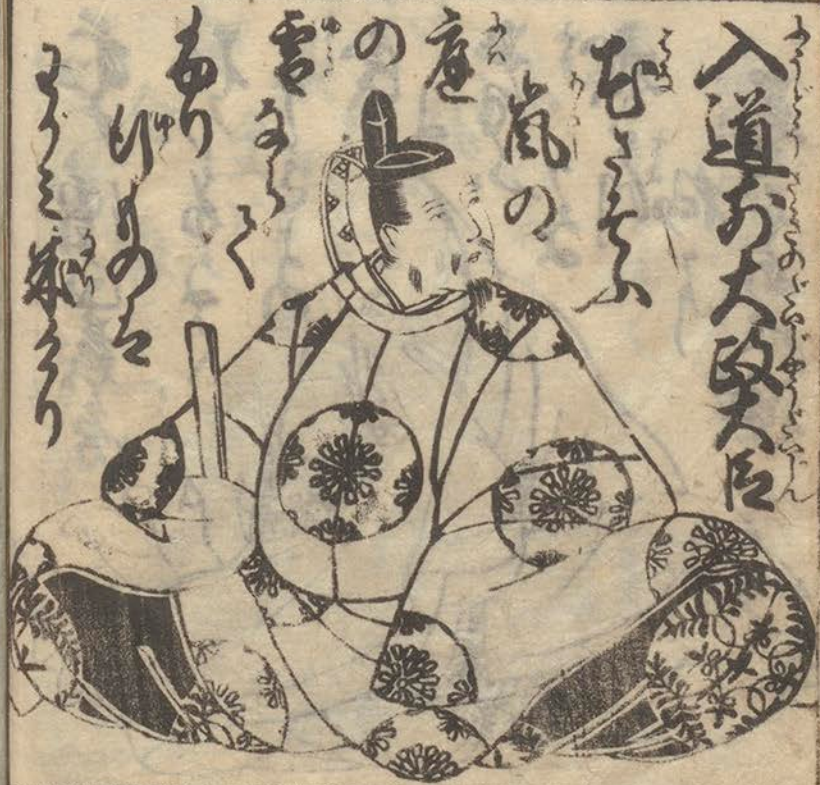
の

雲

あり

げん

うら



権中納言定家

あぬ人を

まつか

の

海

乃

文

屋

り

身



一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

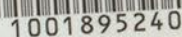
果れくは乃
ふあゝ〜ん
うみ〜ん
ろく〜ん
さく〜ん
さく〜ん
さく〜ん
さく〜ん
さく〜ん
さく〜ん



くゝきんぎょ
くゝきんぎょ
まゝいふに
ぐゝわん
まゝいふに
あゝいふに
あゝいふに
あゝいふに

後高河院
人もや
眠り人も
あら
るこ
ゆと
あふ
ふ
ふ



[illegible]

藤屋宇 共衛 梓



辛右十五下

順德毛



辛右十五

倭
 人
 名
 目
 録
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

ひしやう

[illegible]

支二十 干二



浪花集

藤屋守 共衛 梓

卷一

無名

無名

無名

無名

無名

無名

無名

無名

都

都

都

都

都

都

都

都

都

都

都